

○第208回 遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：令和3年2月26日（金） 13：59～17：17

議事概要：

（1）JPTR003 株を利用して生産されたムラミダーゼ

・審議の結果、食品安全委員会へ報告することとなった。

* ペプチドグリカンの β -1,4 結合を加水分解する酵素です。

（2）JPAN005 株を利用して生産されたペクチナーゼ

・審議の結果、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会へ報告することとなった。

* α -1,4-ガラクトツロノシド結合をエンド型で開裂する β 脱離反応を触媒する酵素です。

（3）収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）

・継続審議となった。

* 収量増加の形質が付与され除草剤グルホシネートに対する耐性をもつトウモロコシです